

發 言 通 告 書

令和 8 年 7 月 10 日

松山市議会議長 大塚 啓 史 殿

松山市議会議員 岡 雄 也

次のとおり通告します。

発言順位	1	受領日時	7 月 10 日	午前・午後	9 時 00 分	1 枚中	1 枚目
質問等の方式	一問一答方式			・ 一括方式	発言時間	約 15 分	
答弁を求める者	・市長 ・ 教育長 ・選挙管理委員会委員長 ・公平委員会委員長 ・農業委員会会長 ・監査委員 ・公営企業管理者						

No	件名	発言の要旨
1	市立中学校の給食費 2 カ月分を無償化することについて	(1) 事業目的について ① 本事業の実施目的を問う。 ② 本事業を選択した理由を問う。
		(2) 事業費の内訳について ① 事業費及び対象生徒数並びに給食費に係る就学援助費支給者数を問う。 ② 事務費 500 万円の内容は何か問う。
		(3) 事業内容について ① 児童手当への上乗せ給付など現金給付ではなく、公会計化されている学校給食費の無償化、すなわち現物給付を採用した理由を問う。 ② 2 カ月間全額を無償化するだけではなく、半額補助とすることで支援期間を延ばすことなどを検討したのか。 ③ 市立中学校以外の中学校に通学する本市在住の生徒のいる世帯との公平性についてどのように考えているのか。 ④ 就学援助世帯など、既に給食費の援助を受けている低所得世帯への無償化の効果はどう整理したか。 ⑤ 国の重点支援地方交付金に加え、本市独自の財源を活用することで、更なる支援を行うという考えにはならなかったのか。
		(4) 事業効果及び今後の考え方について ① 本事業により幾らの家計負担が軽減されるのか。 ② 地域経済への波及効果については、どのように考えているのか。 ③ 本事業は今回限りの措置なのか、それとも今後の中学校給食費負担の在り方を見据えた取組として位置付けているのか。